

1 経過

- ① 第1回地域部会〔2025年11月10日〕（オブザーバー 今井会長、荻野副会長）
 - ・自己紹介を兼ねて現状についての報告
 - ・検討項目の分担
 - ・スケジュールや次回部会開催日の確認、その他
- ② 第2回地域部会〔2026年1月15日〕（オブザーバー 荻野副会長）
 - ・自立支援協議会からの報告を受けての協議
 - ・各担当から分担項目についての報告を受けて協議
 - ・次回開催等の検討、その他

2 項目に関する現状と課題について

1) 自立支援協議会での地域部会の検討事項の報告、質疑、協議

※プランという性質上また予算の裏付けが必要な面もあると思うが、全体として文言が抽象的で具体性にかける感がある。もう少し具体的な文言を提示した方がよいのではないか

施策1 地域生活の充実

- ・車いす利用者に対する住居のことが記されていない。住居整備の観点も必要ではないか

施策2 いざという時の支援体制

- ・社協主催「防災交流会」や当事者の意見を聞く仕組みをさらに進化させることが必要

施策4 相談の仕組み

- ・安心して相談できる体制整備について、具体的な内容が必要
- ・最初の入り口である各機関（総合相談窓口、障がい者支援課、相談支援センター、よろず相談室 地域センター、民生委員など）などについても精神保健福祉医療地域連携会議のような連携のための横断的な会議があると良い

施策5 はたらくを支援

- ・企業向けの障がい者雇用向上、受け入れ態勢の整備などに関する取り組みも必要
- ・就労支援施設から一般就労した場合、入職後6か月間の定着支援に制度上の差があり、その期間への対応も課題

2) 各担当から

*プランの性質上抽象的な表現が多くなりがちではあるが、第4回審議会で報告される市としての取り組み状況の報告を見て、全体の構成や取り組み内容等検討する必要がある

基本方針1 健康とくらしを守る施策

(1) 全ての障がい者に対応した重層的な支援体制の構築

1) 地域生活支援の充実を図る

- ・国の報酬制度改定での影響もあるが、事業所の減少やヘルパーが少なく、様々な地域生活支援サービスが使いにくくなっている。ヘルパーも高齢者支援に偏っている面もあると思われ、障がい者支援のヘルパーの充実（必要性の宣伝、募集など）を図る必要がある
- ・「地域リハビリテーション」や「精神障がい者をはじめ」の文言の検討、広く他の障が

い（医療的ケア児や難病者も含む）に対して対応するように検討する

- ・障がいに合わせて情報提供の在り方、意思決定支援、コミュニケーション支援、情報アクセシビリティ、家族支援などはどうあるべきか、検討する必要があるのではないか
- ・以前からの継続しての文言になっているが、地域移行、地域定着がなかなか進まない課題を洗い出し、それへの対策、取り組みの強化が必要ではないか

(2) 地域で安心できるくらしの支援

②いざという時のための支援体制を作る

③災害時に安心して避難生活を送るために

- ・福祉避難所の充実（開所訓練や避難用品など）や在宅避難者の把握と支援方法なども検討
- ・防災訓練に障がい者団体にも参加の呼びかけをするとともに、災害時の対応について、障がい当事者との話し合いを密にし、実態や希望などを把握する必要がある
- ・安心できるくらしとしては、医療や保健（健康づくり、予防）、防犯、介護、生活なども考える必要があるのではないか（災害関係を1項目にし、生活安全を項目立て）
- ・親亡き後の安心と生活の保障についても考える必要があるのではないか

基本方針2 地域で暮らしていくための支援

(3) 相談支援の充実

④身近で利用しやすい相談のしくみづくり

- ・相談支援（地域生活のキーパーソン）となかなか連絡がつかない
- ・相談できる場所があることやそれが必要な支援につなげられ、よりよい生活につながる流れがあまり知られていない
- ・基幹相談支援センターを核とした相談支援のネットワークはすでに構築されており、そのネットワークが地域生活支援や地域移行、地域定着のキーパーソンの機能などさらなる充実が求められているのではないか
- ・最初の相談窓口として6か所以上があり、それと支援機関などとの、横断的・重層的な支援体制の構築と充実が課題ではないか

(4) はたらく支援の充実

⑥はたらくを支援する

- ・就労支援センターの充実とは、マンパワーの充実ではないか
- ・就労支援事業所（移行、A、B）、生活介護、地域生活支援センターなどの日中活動の場の充実、保障を図る（希望しない在宅者をつくらない、社会参加の推進？）
- ・各種支援事業所から一般就労への移行促進のとりくみ
- ・優先調達の取り組み（市の各部署にニーズの掘り起こしなど）の強化も必要ではないか

3 今後の部会活動について

* 「はたらくを支援」の取り組み内容を検討するにあたり、就労支援センターの活動の様子を知るために、実際に話を聞くなどしたい

* 次回（第3回）については、第4回審議会の後、開催の可否、開催するとしたら日程など決める